

報道発表資料
平成 21 年 5 月 26 日
気 象 庁

第 134 回気象記念日について
- 「気象業務はいま 2009」を刊行します -

平成21年6月1日(月)は、第134回気象記念日です。気象庁では次の記念行事等を行います。

- 1 第134回気象記念日式典を行います。式典の概要は別紙 1 - 1、気象庁業績表彰受賞者は別紙 1 - 2 のとおりです。式典は報道機関に公開しません(会場内での撮影が可能です)。
- 2 「気象業務はいま 2009」を刊行します。概要は別紙 2 - 1 のとおりです。

気象記念日は、気象庁の前身である東京気象台が明治 8(1875)年 6 月 1 日に設立されたことを記念し、昭和 17(1942)年に制定されました。

本件問い合わせ先：気象庁総務部総務課広報室
電話 03-3212-8341 内線(2117)

第 134 回気象記念日式典（概要）

1 日 時 平成 21 年 6 月 1 日（月） 11 時 00 分～11 時 40 分

2 場 所 気象庁講堂

3 式典次第

開式の辞

国歌斉唱

気象庁長官式辞

国土交通大臣あいさつ

国土交通大臣表彰

気象庁長官表彰

閉式の辞

平成 21 年 6 月 1 日付

第 134 回「気象記念日」 気象庁業績表彰受賞者名簿

【国土交通大臣表彰】

1. 船舶：気象通報 1 隻

番号	被表彰者	功績事項	備考
1	日産専用船株式会社 UNITED SPIRIT 殿	気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績	平成 18 年 長官表彰

【気象庁長官表彰】

1. 気象行政の推進に寄与した功績 2 団体

番号	被表彰者	功績事項
1	特定非営利活動法人 気象キャスターネットワーク 殿	地球環境や気象の教育及び防災知識の普及・啓発活動を積極的に行い気象業務の健全な発展に寄与した功績
2	海上自衛隊第 4 航空群 殿	多年にわたり航空機による南鳥島気象観測所への人員及び物資輸送に協力し同観測所における気象業務の運営に寄与した功績

2. 委託観測所 35 団体

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	観測所名	被表彰者
1	ほるまん 幌満	日本電工株式会社日高工場 殿
2	おおひら 大衡	宮城県林業技術総合センター 殿
3	しわ 紫波	紫波町 殿
4	おおはさま 大迫	花巻市 殿
5	おおだて 大館	秋田県知事 佐竹敬久 殿
6	いかりがせき 碓ヶ関	平川市 殿
7	のへじ 野辺地	地方独立行政法人 青森県産業技術センター畜産研究所 殿
8	よりの 寄居	寄居町 殿
9	こしがや 越谷	埼玉県 殿

番号	観測所名	被表彰者
10	てんりゅう 天竜	浜松市天竜消防署 殿
11	いわた 磐田	磐田市 殿
12	ゆがしま 湯ヶ島	田方地区消防組合 殿
13	しみず 清水	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 カンキツ研究興津拠点 殿
14	ひたち 日立	日立市 殿
15	つなん 津南	新潟県農業総合研究所高冷地農業技術センター 殿
16	たしろ 田代	独立行政法人種苗管理センター孺恋農場 殿
17	つちやま 土山	甲賀市立土山中学校 殿
18	おおだ 大田	大田市消防本部 殿
19	いんのしま 因島	尾道市水道局因島瀬戸田営業所 殿
20	くび 久比	呉市役所豊市民センター豊支所 殿
21	くせ 久世	真庭市久世支局 殿
22	おおず 大洲	大洲地区広域消防事務組合 殿
23	みしま 三島	四国中央市立松柏小学校 殿
24	かぜや 風屋	電源開発株式会社 水力流通事業部西日本支店十津川電力所 殿
25	さかわ 佐川	四国電力株式会社 中村支店電力部佐川電力センター 殿
26	やなせ 魚梁瀬	馬路村農業協同組合 Aコープ魚梁瀬店 殿
27	とくさ 徳佐	山口県農林総合技術センター 殿
28	きつき 杵築	杵築市立杵築小学校 殿
29	みかど 神門	美郷町南郷支所 殿
30	すさ 須佐	萩市須佐総合事務所 殿
31	もろつか 諸塚	諸塚村中央公民館 殿
32	くるぎ 黒木	福岡県農業総合試験場八女分場 殿
33	しろいし 白石	佐賀県立佐賀農業高等学校 殿
34	きん 金武	金武町立嘉芸小学校 殿
35	いぜな 伊是名	伊是名村 殿

3. 船舶：気象通報 4 隻

多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	玉井商船株式会社	NIKKEI PHOENIX 殿
2	香川県立多度津高等学校	香川丸 殿
3	ケイラインシップマネジメント株式会社	BAUHINIA BRIDGE 殿
4	エム・オー・エル・シップ・マネジメント株式会社	新鷹丸 殿

4. 船舶：表層水温・海流通報 2 隻

多年にわたり海洋の表層水温の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	海上保安庁海洋情報部	明洋 殿
2	宮城県教育庁	宮城丸 殿

5. 漁船 6 隻

海上気象の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	漁船名
1	旭漁業株式会社	第8旭丸 殿
2	枕崎市漁業協同組合	第3協洋丸 殿
3	津田海運株式会社	寶榮丸 殿
4	静岡県水産技術研究所	駿河丸 殿
5	有限会社 安市丸	安市丸 殿
6	株式会社ヤマツ谷地商店	第67源栄丸 殿

「気象業務はいま 2009」の刊行について

「気象業務はいま」は、広く国民の皆様に、気象庁の業務の全体像をご理解いただくことを目的として毎年刊行しており、今回の「気象業務はいま 2009」は、気象記念日（6月1日）に刊行します。

- ・平成 21 年(2009 年)は、伊勢湾台風から 50 年となることから、特集として「台風情報の進化とそれを支える技術の発展」を取り上げました。
- ・トピックスでは、この 1 年の主な自然災害の状況や気象庁における新たな取り組みを記述しました。特に、平成 20 年夏の集中豪雨・局地的な大雨の状況や気象庁の取り組みについてはページを割いて紹介しました。
- ・「気象業務の現状と今後」では、国民の安全・安心を支える気象、地震・火山、地球環境・海洋等の情報の改善や関係機関との連携等の取り組み、気象庁が進める技術開発や国際協力について、平易に解説しました。また、最近の気象・地震・火山・地球環境の状況を正確に理解していただくよう配慮しました。

なお、「気象業務はいま 2009」の主な構成は別紙 2-2 の通りです。



「気象業務はいま 2009」の主な構成

- 特集 「伊勢湾台風から 50 年
 －台風情報の進化とそれを支える技術の発展－」
 - ・観測技術・観測網の発展
 - ・これまでの台風予報の改善
 - ・台風情報を支える予報技術の発展
 - ・台風情報を含む防災気象情報の改善
 - ・台風情報改善に向けた調査研究
 などについての気象庁の取り組みを紹介。

- トピックス
 - (1) 平成 20 年夏の集中豪雨・局地的な大雨
 - 1-1 平成 20 年夏の集中豪雨・局地的な大雨の現象と被害
 - 1-2 集中豪雨・局地的な大雨に対する気象庁の取り組み
 - (2) 東北地方で相次いだ大地震
 - (3) 2 年目を迎えた緊急地震速報と噴火警報・噴火警戒レベル
 - (4) 「気象庁震度階級関連解説表」の改定
 - (5) 新たなケーブル式海底地震系の運用開始
 - (6) 平成 20 年（2008 年）7 月の西日本の高温・少雨と渇水
 - (7) 二酸化炭素分布情報の公表開始
 - (8) 寄り回り波の対策強化に向けて

- 第 1 部 気象業務の現状と今後
 - 第 1 章 国民の安全・安心を支える気象情報
 - (1) 気象の監視・予測
 - (2) 地震・津波と火山の監視・予測
 - (3) 地球環境・海洋の監視・予測
 - 第 2 章 技術開発・研究開発の推進
 - 第 3 章 気象業務の国際的広がり与世界への貢献
- 第 2 部 最近の気象・地震・火山・地球環境の状況
- 参考資料 主な気象官署、用語集、索引、CD-ROM ユーザーガイド

付録：CD-ROM

- ・本書の全内容
- ・参考資料（気象庁の沿革と主な出来事、気象注意報・警報の種類等、近年の日本及び世界の天候、津波予報・津波情報の種類等、気象・地震・火山等の記録、気象情報の提供の概要）

付録資料（天気図、静止気象衛星画像、日本気候図、日本気候表、極値表、月別値一覧表、台風経路図、台風位置表、南極のオゾンホール衛星画像、地球温暖化予測情報、北西太平洋月別海面水温の平年値、太平洋の海面水温平年偏差図、地震・火山月報（防災編））